

能登半島沖産 いか給食



平成30年6月6日 実施

今日の献立のスルメイカについて、みなさんはどれくらい知っていますか？
いかはどこに住んでいるの？ どうやってとるの？ など、いかについて紹介します。

いかはどこに住んでいるの？

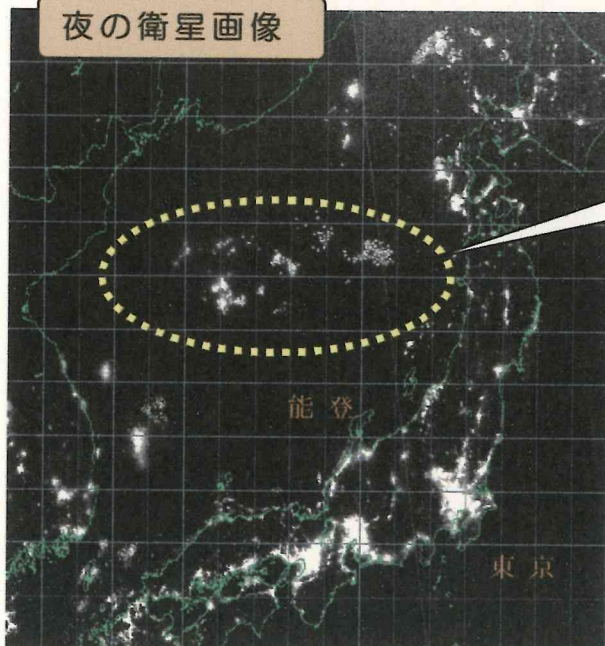
能登半島沖に来るころには
約25センチに成長

海流によって
約10か月・・・

生まれるところ

生まれてすぐはわずか
1ミリ!

夜の衛星画像



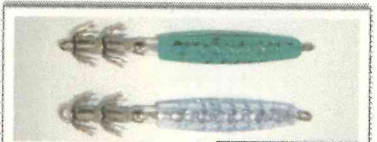
海の上に大都市のような明かり!?

いか釣り漁船の光です!

夜の人工衛星からも確認できるほどの明るさで、
明かりに集まってきたいかを釣り針のついた専用の
機械でとります。多い時には300隻の小型いか釣り
船が全国から集まり、漁をします。



船についている照明灯



ついでに

今回いかを提供してくださったのは、**すずし小型いか釣り部会**のみなさんです!

珠洲市に縁のある漁業者により作られた集まりで、現在の会員数は6名です。

春先は長崎県で漁をし、いかを追って北上し、秋ごろには青森県・北海道あたりで漁をします。

石川県では5月から7月までが漁の許可期間になります。

いかをとってきてくれた漁師さん、料理をしてくれる方そして生き物の命をいただくことに感謝して
いただきましょう。